

花巻署管内における冬季転倒防止対策スローガン

転倒を



未然に防ぐ



注意力

STOP!

冬季転倒災害

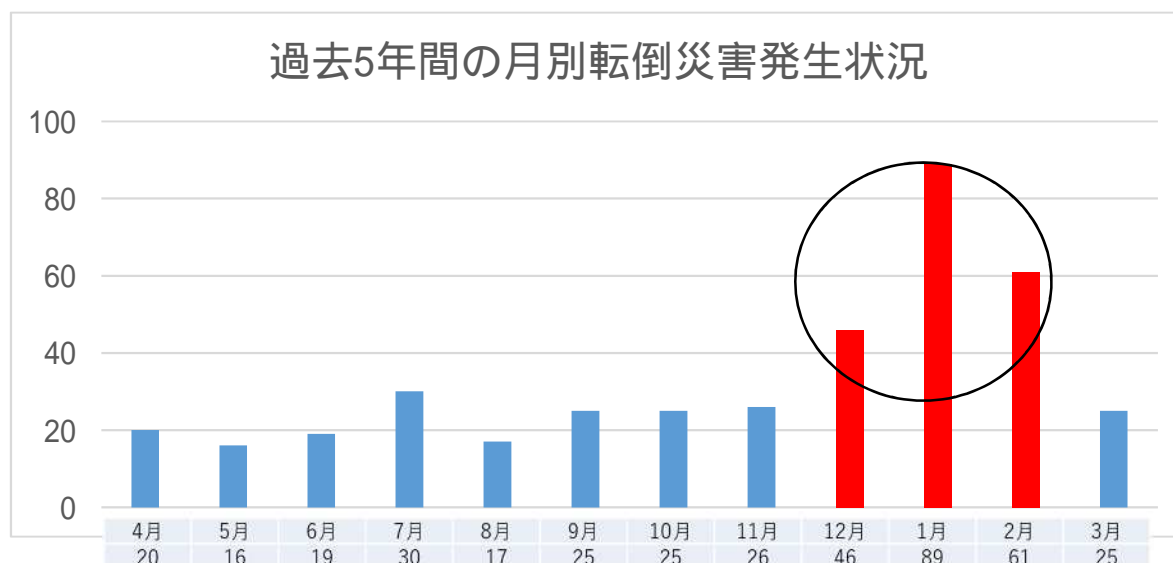


花巻労働基準監督署・管内労働災害防止連絡会議

スローガン：奥州商工会議所様が考案

令和元年12月1日から令和2年1月31日まで **いわて年末年始無災害運動** 展開中！

労働災害発生状況(過去5年間の転倒災害)



冬季は、積雪・凍結による転倒災害が多発します。過去5年間の冬季間(12月から2月まで)、花巻署管内の全災害件数(516件)に対して転倒災害の件数(196件)は、約38%を占めています。冬季間以外の期間は全災害件数(1224件)に対して転倒災害の件数(221件)は、約18.1%となっており、全体の災害の中で大きな比重を占めてはいますが、積雪・凍結の多い岩手県では特に冬季間の転倒災害を防止することで全体の災害の減少が見込めます。以下の点に注意し、早めの準備をお願いします。

転倒災害防止のポイント

天気予報を確認する

大雪、冷え込み等が予想される場合等には、予め周知し、早めの対策を実施しましょう。

駐車場、通路等の除雪、融雪等を行う

駐車場内、駐車場から職場までの通路等、凍結しやすい場所は、除雪や融雪剤の散布を行いましょう。また、建物の出入口では転倒防止用マットを敷き、夜間は照明設備を設けて明るさ(照度)を確保しましょう。

履物は滑り難いものを着用する

雪道を安全に歩くには履物選びが大切です。履物は、滑り止め材入り、ピン・金具付き・溝の深いもの等、防滑性(靴底が滑りにくいこと)に優れたものを着用しましょう。また、足のサイズに合った履物を選びましょう。

時間に余裕をもった行動を行う

悪天候により道路が混雑する場合、交通機関に遅れが生じる場合は、時間に余裕をもって移動するようにし、落ち着いて行動するよう心がけましょう。屋外では、小さな歩幅で「急がず、ゆっくり」歩くようにしましょう。また、ポケットに手を入れたり、荷物などで両手がふさがっている時は、反射的に身を守れないため、手袋の着用、両手をふさがない工夫・作業方法の選択をしましょう。

危険マップの作成、転倒災害防止のための教育を行う

職場内の労働者が転倒の危険を感じた場所の情報を収集し、危険マップを作成しましょう。また、作業に適した履物、雪道や凍った路面上での歩き方など、安全教育を行いましょう。

転倒予防体操を実施する

転倒予防体操・ストレッチの実施など、転倒に強い体づくりに努めましょう。